

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)3月29日

上伊那地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	1	課題区分	C			
実施機関	上伊那地域振興局		担当課	所属	企画振興課	
事業名	インバウンド拡大事業			電話	0265-76-6801	
				E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	外国人旅行者の誘客を図るため、台湾の旅行会社を招請し、上伊那地域を含む旅行商品の造成に向けた視察旅行を行う。				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・二つのアルプスを展望できる優れた山岳景観を有しているにも拘わらず、観光需要が低迷しており外国人延宿泊者(年間)は、県全体の2%にとどまっている。 ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道等の高速交通網の整備を活かし、交流人口の拡大が期待されている。 ・広域DMOの設立に向け進められ、DMOを中心とした広域観光の展開が期待されている。 				
	内容 (変更後の内容)	台湾の旅行会社を招請し、視察旅行を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・被招請者:5名(台湾の旅行会社5社からそれぞれ1名) ・招請時期:平成30年2月1日(木)~4日(日)(3泊4日) ・行程:上伊那地域振興局管内ほか 				
	事業期間	平成30年2月		~	平成30年2月	
	成果目標	上伊那地域を含む旅行商品の造成				
事業費等	事業費	1,751,600 円				(単位:円)
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c
	9	旅費	23,600	23,600	23,600	0
	11	消耗品	1,500	1,500	0	1,500
	13	視察旅行業務委託	1,728,000	1,728,000	1,728,000	0
						0
						0
計		1,753,100	1,753,100	1,751,600	1,500	
事業実績・成果	事業実績	上伊那地域を含む旅行商品を造成するため、平成30年2月1日(木)~4日(日)まで台湾の旅行会社5名を招請し、視察旅行を行った。		5社中3社が旅行商品の造成と販売予定であり期待どおりの結果となった。		○ 期待以上
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社:百順、五福、上順、喜鴻、長汎旅行社 ・行程:中部国際空港(出入国) 伊那市高遠町(歴史博物館、高遠城址公園、旧馬島家住宅) 駒ヶ根市(千畳敷純白の結婚式、光前寺、養命酒) 		<ul style="list-style-type: none"> その内1社は、新たに若者向けに冬季の商品を造成して販売予定である。 また、台湾の旅行者にとって上伊那地域で訪れてみたい場所はどこか、また誘客するためには何が必要か把握できた。 		<input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	外国人旅行者の誘客を図るため、観光だけでなく食文化などを取り入れた視察旅行等を行い、上伊那地域を発信するとともに旅行商品の造成に向ける。					

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)3月29日

上伊那地域振興局

提出区分	実績						平成30年(2018年)3月29日	
整理番号	2	課題区分	C		上伊那地域振興局			
実施機関	上伊那地域振興局			担当課	所属	企画振興課		
事業名	リニア中央新幹線とのアクセス基礎調査事業				電話	0265-76-6801		
					E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	平成39年に予定されているリニア中央新幹線の開業に向け、リニア中央新幹線長野県駅とのアクセス(二次交通)のあり方を検討するに当たり、必要となる各種データ等の収集・整理と分析を行う。						
	現状と課題	平成39年に予定されているリニア中央新幹線の開業に向け、リニア中央新幹線長野県駅とのアクセス(二次交通)のあり方を検討するに当たり、必要となる各種データ等が不足している。						
	内容 (変更後の内容)	(1) 交通に関する基礎的情報の収集・整理 ○ 対象地域の交通利用実態の整理 ○ 対象地域の旅客流動の実態整理 (2) 交通行動に関する意向調査・分析 ○ アンケート調査票、配布先等の確定 ○ 対象地域居住者の意向調査 ○ 対象地域へ来訪する県外観光客の意向調査 ○ 県外居住者の意向調査 ○ 交通事業者の意向調査						
	事業期間	平成29年7月			～	平成30年3月		
成果目標	(3)事例調査・分析、(4)方面別・交通手段別利用者数の試算、(5)現況の交通サービスの評価、(6)想定されるアクセス手段の評価 を検討することができるように、必要となる各種データ等の収集・整理と分析を行う。							
事業費等	事業費	3,833,691 円					(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考	
	11	封筒作成	90,331	90,331	90,331	0		
	13	調査業務委託	3,741,200	3,741,200	3,741,200	0		
	14	ETC使用料	0	0	2,160	△ 2,160		
						0		
						0		
						0		
計		3,831,531	3,831,531	3,833,691	△ 2,160			
事業実績・成果	事業実績			事業の成果			評価	
	企画振興部交通政策課、建設部リニア整備推進局、上伊那地域振興局及び南信州地域振興局が連携して実施した。 各種データの収集・整理及び専門的事項に係るアドバイス業務については外部に委託して行い、業務の効率化を図った。 ・ 中央コンサルタンツ(株)飯田事務所 ・ 平成29年10月30日～平成30年3月20日			○事例調査・分析 ○方面別・交通手段別利用者数の試算 ○現況の交通サービスの評価 ○想定されるアクセス手段の評価 を検討することができるように、必要となる各種データ等の収集・整理と分析を行った。			○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	今年度の事業実績・効果を踏まえ、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業に向け、リニア中央新幹線長野県駅とのアクセス(二次交通)のあり方を、次年度検討していく。							

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)4月24日

上伊那地域振興局

提出区分	実績						平成30年(2018年)4月24日	
整理番号	3	課題区分	C		上伊那地域振興局			
実施機関	上伊那地域振興局			担当課	所属	企画振興課		
事業名	リニア中央新幹線を地域に活かすためのシンポジウム開催事業				電話	0265-76-6801		
					E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	2027年に東京・名古屋間の開業が予定されているリニア中央新幹線について、上伊那地域への影響・効果や、どのように活用していくかを考える。						
	現状と課題	東京・名古屋間の開業が予定されているリニア中央新幹線について、リニア中央新幹線開業に向けての関心が深まっているとはいえない。						
	内容 (変更後の内容)	リニア中央新幹線を地域に活かすためのシンポジウムの開催 第1部:説明「リニア中央新幹線計画の近況について」 古谷 佳久(ふるや よしひさ)氏 東海旅客鉄道(株)中央新幹線推進本部中央新幹線建設部名古屋建設部 担当部長 第2部:講演「リニア新幹線に向けた伊那谷の未来の作り方」 岸 博幸(きし ひろゆき)氏 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授						
	事業期間	平成30年3月			～	平成30年3月		
成果目標	多くの関係者、住民等のシンポジウムへの参加							
事業費等	事業費	460,395 円					(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考	
	8	講師謝金	260,000	303,284	303,284	0		
	9	費用弁償	46,100	4,527	4,527	0		
	11	消耗品費	5,720	4,939	4,939	0		
	12	郵送費	15,000	21,445	21,445	0		
	14	会場使用料	107,400	126,200	126,200	0		
	計		434,220	460,395	460,395	0		
事業実績・成果	事業実績	リニア中央新幹線を地域に活かすためのシンポジウムの開催		アンケート集計結果			評価	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月11日(日) 信州INAセミナーハウス 大ホール 約260人の参加 東海旅客鉄道(株)による説明 岸博幸慶應義塾大学大学院教授による講演 		<ul style="list-style-type: none"> リニア中央新幹線開業に向けての理解 深まった+やや深まった85.1% このシンポジウムについて 満足+やや満足 第1部82.5% 第2部86.0% 全体92.1% 			<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	リニアを地域に活かすための意識の共有を図る。							

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成29年(2017年)10月16日

上伊那地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	4	課題区分	C			
実施機関	上伊那地域振興局			担当課	所属	企画振興課
事業名	観光客の広域移動システム実証実験事業				電話	0265-76-6801
				E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	上伊那地域の観光拠点を広域的に繋ぐバスの運行を行うことで、リニア中央新幹線の開業を見据えた、新たな交通システム構築のための実証を行う。				
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 上伊那西部地域には、中央アルプス駒ヶ岳をはじめとした観光拠点が点在しているが、来訪者の周遊が図られていない。 来訪者が観光地を周遊するためには、市町村の枠を超えて広域的に取り組む必要がある。 リニア中央新幹線開業後に、広域で来訪者を周遊させる移動手段を検討する必要がある。 				
	内容 (変更後の内容)	<p>上伊那地域の4つの観光拠点をつないだ路線バスの実証運行を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行期間 平成29年8月1日(火)～8月27日(日)27日間 運賃 大人200円、小中学生100円、未就学児無料 区間 JR伊那市駅～大芝高原～みはらしファーム～かんてんぱぱ～駒ヶ根高原 運行契約 伊那バス(株)との委託契約 運行経費 バス運行経費から運賃を差し引いた金額を上伊那地域振興局が負担 				
	事業期間	平成29年8月		～	平成29年8月	
	成果目標	観光拠点を広域的に繋ぐバス運行にどのような必要があるのかを検証				
事業費	事業費	2,475,994 円				(単位:円)
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c
	11	バスマスク、チラシ等	201,000	201,000	181,458	19,542
	13	バス運行委託料	2,130,000	2,253,900	2,253,900	0
	14	コピー料金 JR伊那市駅構内運送営業料	0	40,636	40,636	0
						0
						0
計		2,331,000	2,495,536	2,475,994	19,542	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価
	<p>上伊那地域において、観光拠点を結んだ路線バスの運行は、新しい試みであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行期間 8月1日～8月27日(27日間) 利用人数 延べ519人 1日当たり 19.2人利用(1便当たり9.6人利用) 		<p>1便当たり約10人の利用があり、アンケート結果(回答者数254人、回答率48.9%)でも、引き続き周遊バスを充実して運行することを望む声が多く、幅広い年齢層での需要があった。</p> <p>今回の実証運行は、広域的に来訪者を周遊させる移動手段を構築するためのモデルケースとなった。</p>			<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	今年度は事業期間、周知期間がともに短かったが、幅広い年齢層での需要があり、利用者からの充実した運行を望む声もあるため、来年度に向けて引き続き検証を行い、広域移動システムの構築のための実証運行を検討していきたい。					

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)3月13日

上伊那地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	5	課題区分	C			
実施機関	上伊那地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	信州DCと連携したイベント等の開催事業				電話	0265-76-6832
				E-mail	kamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域の子どもたちが、自分の暮らしている上伊那地域の魅力を知ることにより、地域の良さを再認識し、郷土愛を深めることを目的とする。				
	現状と課題	上伊那は二つのアルプスなど豊かな自然があり、稲作や製造業等の産業が盛んな地域である。また移住者も多く、安心して生活できる地域である。しかし、地域の子どもたちにはこの魅力に気付かず、高校卒業後に県外へ出た後、そのまま地域外へ就職する人が多い状況である。このため、小学生のうちから地域の魅力に触れ、地域の良さを再認識する機会を設けて、郷土愛を育むことが望まれている。				
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・信州DC期間中に運行するイベント列車にあわせて、小学生を対象とした、地域の魅力に触れるためのテーマ性(産業、生活など)を持ったバスツアーを実施し、地域学習を行う。 ・バスツアーは、地域内の小学校において学校単位やクラス単位で企画する。 ・地域振興局では、企画の中から実施可能で地域の良さを発見することができると思われる企画を採択し、ツアーを実施する。 ・企画に必要なバスの借上げ代、生徒の保険代及びガイドの謝金並びに旅費は、地域振興局が負担する。 				
	事業期間	平成29年7月1日		～	平成29年9月30日	
成果目標	ツアー後のアンケートで、地域の魅力に触れて、地域の良さを発見することが出来たと回答した児童が70%以上					
事業費等	事業費	248,504 円				(単位:円)
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c
	8	ガイド謝金	77,000	77,000	0	77,000
	9	ガイド旅費	12,000	12,000	0	12,000
	12	保険料	12,000	20,500	19,744	756
	14	バス借上げ代	240,000	240,000	228,760	11,240
						0
						0
計		341,000	349,500	248,504	100,996	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	小学生を対象としたバスツアーを信州DC特別列車「飯田線リレー号」の運行に合わせて、7/1、8/26及び9/9の合計3回実施した。 各回でテーマを「上伊那のひと・もの・しごとの魅力を感じよう」、「田んぼ」及び「駅」として、小学校3校、生徒合計53名が参加した。		ツアー後の小学生からの聞き取りで、「満足した」と答えた児童がほぼ100%であった。 同行した教員から地域再発見のツアーだったとの感想をいただいた。		<input checked="" type="radio"/> 期待以上 <input type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	・小学校側は地域を再発見するツアーを望んでいることから、当局としては、局で運行する周遊バスに今回のツアーの要素を含める等により対応を検討していきたい。					

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)3月13日

上伊那地域振興局

提出区分	実績						平成30年(2018年)3月13日	
整理番号	6	課題区分	A		上伊那地域振興局			
実施機関	上伊那地域振興局			担当課	所属	企画振興課		
事業名	JR飯田線利用拡大PR事業				電話	0265-76-6801		
					E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	JR飯田線の魅力を満載したパンフレットを配布することで、JR飯田線の利用拡大のためPRする。						
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那管内のJR飯田線利用者数は年々減少。 (平成元年 14,140人→平成23年 8,514人 約40%の減少) ・人口減少が進む中、生活路線としてのJR飯田線を維持していくとともに、上伊那圏域の交流人口を拡大するために、観光資源等として積極的に活用していくことが課題。 						
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那管内のJR飯田線24駅の歴史や見所等を、当局の職員が取材したパンフレット「JR飯田線 各駅停車の旅(カラー16p)」を1,000部印刷。 ・DC関連イベントでパンフレットを希望者に配布し、JR飯田線の魅力を伝える。 						
	事業期間	平成29年6月			～	平成29年6月		
	成果目標	DC関連イベントでパンフレットを配布し、JR飯田線の魅力を伝えるとともに知識を深めてもらう。						
事業費等	事業費	99360 円					(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考	
	11	パンフレット印刷代	100,000	99,360	99,360	0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
計		100,000	99,360	99,360	0			
事業実績・成果	事業実績			事業の成果			評価	
	<ul style="list-style-type: none"> ・DC関連イベント(7月1日、8月26日、9月9日)において450部配布 ・JR飯田線80周年イベント時に、名古屋駅で250部配布 ・JR飯田線期成同盟会総会時配布 ・要望があった住民への配布 			<p>上伊那地域管内で、鉄道は飯田線のみである。DC関連のイベント時では、パンフレットを活用することにより、地域の魅力をより発信でき、イベントの効果を高めることができた。</p> <p>また、地域内外で配布することにより、JR飯田線を周知する機会や改めてこれからの利活用を考える一端になった。</p>			<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	上伊那を縦断する移動手段として唯一の鉄道路線であるため、生活路線だけでなく、観光での活用として、PRや利活用方法を検討する必要がある。							

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)3月13日

上伊那地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	8	課題区分	C			
実施機関	上伊那地域振興局		担当課	所属	商工観光課	
事業名	ものづくり産業オープンイノベーション推進事業			電話	0265-76-6829	
				E-mail	kamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	地域産業の稼ぐ力を強化するため、他地域の取組事例等を研究することによって、地域内におけるオープンイノベーションを加速させる体制を構築する。				
	現状と課題	<p>地域企業の稼ぐ力が十分発揮されていない</p> <p>①企業間ネットワークが未整備のため、試作品依頼のチャンスを逃すケースがある。</p> <p>②地域の様々な知見やノウハウが企業活動に十分活かしきれていない。</p> <p>③地域外の拠点と更なる連携、交流が必要。</p>				
	内容 (変更後の内容)	<p>地域内のオープンイノベーションのあり方を検討</p> <p>①現在の地域内の支援機関等の役割について情報共有(県、市町村、大学、金融機関 他)</p> <p>②他地域の取組事例等をテーマとして「ものづくり産業オープンイノベーション推進研究会」を開催し、上伊那地域支援機関ネットワークの体制を検討</p>				
	事業期間	平成29年7月		～	平成30年3月	
	成果目標	上伊那地域支援機関ネットワークの立ち上げ				
事業費等	事業費	196261 円				(単位:円)
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c
	8	講師謝金	204,000	131,861	131,861	0
	9	講師旅費	150,000	64,400	64,400	0
	14	会場借料	150,000	0	0	0
						0
						0
						0
計		504,000	196,261	196,261	0	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	ものづくり産業オープンイノベーション推進研究会の開催(計3回、講師計5名、産業支援機関等担当者延べ80名参加) INA Valley産業支援ネットワークキックオフ会議の開催(講師3名、会員27名参加)		ものづくり産業オープンイノベーション推進研究会等の検討結果を踏まえ、INA Valley産業支援ネットワークを立ち上げた。(会員数39名)		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	INA Valley産業支援ネットワークとして、企業支援のための情報共有や企業の課題解決に向けた取組等を進める。					

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)2月23日

上伊那地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	9	課題区分	C				
実施機関	上伊那地域振興局		担当課	所属	農政課		
事業名	農山村情報の発信力向上事業			電話	0265-76-6812		
				E-mail	kamichi-nosei@pref.nagano.lg.jp		
事業概要	目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域実需者のニーズの把握と地域食材の有効活用の推進 ・農畜産物生産者による訴求力の高い情報発信 ・農山村地域と都市との交流ツールとしての農家民宿・民泊の地域が一体となった情報発信 					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者と実需者が意見交換や情報交換を行う機会に乏しく、地域内連携が弱い。 ・農業者が自ら農産物を発信する機会の不足により、実需者に対し自社農産物について発信するスキルが低い。 ・上伊那全地域にかかる農家民宿等の所在や特徴、参入に必要な情報が不足しており、地域と都市との交流機会が得にくい。 					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊那谷ガレット協議会との協働による地域食材等のPR及び有効な情報発信に向けた農業者と飲食店関係者のトークセッションの開催 ・中日ビル名産ショップにおける販促実践研修会開催及び上伊那地域農産物のPRの実施 ～出張！！いな上伊那産直所～ 					
	事業期間	平成29年10月		～	平成30年3月		
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・トークセッション後のアンケートで地域食材の魅力と情報発信について参考となった割合が70%以上 ・名産ショップの販売により上伊那産食材に興味を持った来客者(アンケート実施)の割合70%以上 					
事業費	358,835 円 (単位:円)						
事業費	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	講師謝礼	188,600	188,600	182,400	6,200	
	9	講師旅費	60,000	60,000	59,589	411	
	11	トークセッション実践研修物品等	10,000	10,000	4,886	5,114	
	12	切手代	7,200	7,200	2,760	4,440	
	14	テント使用料 中日ビル使用料	68,200	110,000	109,200	800	
計			334,000	375,800	358,835	16,965	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価	
	平成29年10月15日に伊那谷ガレット協議会との協働による地域食材等のPR及び高い情報発信に向けた農業者飲食店と関係者の時トークセッションを開催		ガレットマルシェ700食完売、トークセッション聴講者約50名(アンケート回答数40、内「参考になった=87%」)			○ 期待以上	
	平成29年12月5日～6日に中京圏における対面販売研修(出張直売所)及び直売所視察研修を開催 研修成果を上伊那地域の農業者にフィードバック		対面販売来客数300人(アンケート回答数178、内「興味を持った=89%」) 上伊那地区 ファーマーズの集い 平成30年2月19日開催(参加者約200人)			● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	引き続き、訴求力のある情報発信についての支援及び関係者のマッチングを図るとともに農家民泊業の推進に向け、関係組織間の連携強化や農家民泊参入者の拡大など、事業基盤の整備を進めていく。						

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年(2018年)3月7日

上伊那地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	10	課題区分	A				
実施機関	上伊那地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	元気づくり支援金活用促進事業				電話	0265-76-6801	
				E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	元気づくり支援金制度の一層の周知を図るための、番組を制作する。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 採択件数及び採択金額も年々減少。 (平成25年60件63,433千円→平成29年38件55,803千円 採択件数は約60%の減少) 支援金の周知を行うとともに、より一層の活用を促していくことが課題。 					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> 元気づくり支援金を活用した3団体の代表者等に、支援金を活用することとなったきっかけなどを取材するとともにするとともに、イベント実施状況及びイベント実施に向けた準備の様子などを撮影し、団体の活動内容を広く周知する。 支援金を活用した成果や、今後の自立した運営に向けた取組などを中心に、これから支援金を活用を検討する団体の参考となる内容とする。 					
	事業期間	平成29年10月		～	平成30年3月		
	成果目標	元気づくり支援金活用促進番組を通じ、平成30年度の支援金申請事業者の増加を図る。					
事業費等	事業費	270,800 円 (単位:円)					
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	講師謝礼	0	6,200	6,200	0	出張講座謝礼(2名分)
	13	テレビ番組作成委託料	300,000	264,600	264,600	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
計		300,000	270,800	270,800	0		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価	
	<p>元気づくり支援金制度の一層の周知を図るため、元気づくり支援金に係る制度概要等の説明を行うため、辰野町及び飯島町役場で出張講座を実施した。</p> <p>元気づくり支援金の活用促進番組を管内ケーブルテレビで放送し、一層の活用を促した。</p> <p>活用促進番組に係るDVDの複製を地域住民への貸出を図るとともに、管内市町村へDVDを配布するなど、元気づくり支援金の一層の周知を図った。</p>		<p>元気づくり支援金に係る公共的団体の事業計画書の提出数は、平成29年度38件であったものが、平成30年度は51件と増加した。</p> <p>特に、出張講座を開催した辰野町の公共的団体からの事業計画書の提出数は、平成29年度0件であったものが、平成30年度は3件あった。</p> <p>支援金活用促進番組の放送により、電話での問い合わせが増えた。</p>			<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	次年度以降も管内市町村での出張講座実施を検討していく。						

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成29年(2017年)11月30日

上伊那地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	11	課題区分	C				
実施機関	上伊那地域振興局		担当課	所属	企画振興課		
事業名	JOCAと連携した地域づくり事業			電話	0265-76-6801		
				E-mail	kamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	「い〜な上伊那地域づくりフォーラム」の開催に併せ、青年海外協力隊の経験者による事例発表を行う。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月に公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)が東京都千代田区から駒ヶ根市中心市街地に移転することが決定。 青年海外協力隊の訓練生や経験者との交流をより一層深めていく契機が必要。 					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> 上伊那管内の平成28年度元気づくり支援金事例に係る優良事例の発表、地域づくり活動に従事する地域づくりネットワーク加入者や市町村担当者を集めたフォーラムを開催。 フォーラム開催にあわせ、JOCAで活躍する青年海外協力隊の経験者による活動内容の事例発表等を通じ、参加者とこれからの地域づくりについて検討。 					
	事業期間	平成29年10月28日		～	平成29年10月28日		
	成果目標	地域住民へJOCAに関する理解を深めるとともに、地域づくり活動に関する新たな取組等を検討する場を設ける。					
事業費等	事業費	39,560 円				(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	講師謝礼	17,200	0	0	0	
	9	講師旅費	23,440	39,560	39,560	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
計		40,640	39,560	39,560	0		
事業実績・成果	事業実績	平成30年2月に、公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)の本部事務所が東京都千代田区から駒ヶ根市中心市街地に移転することが決定したことと併せ、地域づくりフォーラム(平成28年度の元気づくり支援金活用事業の優良事例の表彰等)において、JOCAに所属する「有泉 仁美」氏の前までの活用内容等の事例発表を実施した。地域づくりフォーラム参加者は、53名(事務局等除く)であった。		地域住民へJOCAに関する理解を深められた。 地域社会と青年海外協力隊事業の連携モデルなどを検討する機会となった。		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
	今後の方向性	地域社会の発展に繋がるJOCA及び地域住民との連携モデルの構築等を検討していく。					